

AAFC JAZZ 分科会 第19回 (第1部)
2018/03/25 担当 宇多 弘

モダンジャズ・ギター奏者 特集

今回は、あらたに何人かのモダンジャズ・ギター奏者をご紹介します。
下記表 #3 のジム・ホール (Jim Hall) は以前の当分科会にてご紹介しておりますが、今回ご紹介するアルバムはデビュー後最初の録音なので追加致しました。 どうぞ、くつろいでお聴きください。

〈ブレーヤ、アルバムおよび曲〉 (録音年月日順)

#	Player	Album Title	Tune Title (composer) <下線は Duo>	曲	時間
1	(Lee Koniz) Billy Bauer	Subconscious-Lee <u>Conception</u>	<Quintet> Retrospection (L. Tristano) <duo> <u>Indian Summer</u> (Vic. Herbert)	3 5	3:08 2:32
2	Kenny Burrell	All Day Long/ All Night Long	Body And Soul (Johnny Green)	5	10:24
3	Jim Hall	Jazz Guitar: Jim Hall Trio	Stonping At The Savoy (B. Goodman, C. Webb, E. Sampson)	1	4:04
4	Barney Kessel	The Poll Winners	Satin Doll (Duke Ellington) On Green Dolphine Street (B.kaper-)	2, 6	6:30 4:01
5	Wes Montgomery	The Incredible Jazz Guitar Of....	Four On Six (W. Montgomery) West Coast Blues (W. Montgomery)	4, 5	6:15 7:26
6	Laurindo Almeida	Guitar From Ipanema	Quiet Nights Of Quiet Stars <Colcovado> (Antonio Carlos Jobim)	7	2:41
7	Al Di Meola	World Sinfonia	Vistaero (Al Di Meola)	2	4:34

#	Members list (instrument)	Rec. date	CD # / (remarks)
1	<u>Lee Koniz (as), Billy Bauer (g), L. Tristano (p), Arnold Fiskin (b), Shelly Manne (ds) <下線は Duo></u>	'49-01-11 '51-03-13	UCCO-9280/(*) <u>UCCO-5213/(*)</u>
2	K. Burrell (g), Hank Mobley (ts), Donald Byrd (tp), Jerome Richardson (fl/ts), Doug Watgkins (eb), Mal Waldron (p), Art Taylor (ds)	'56-12-28	NOT2CD374 <compilation> (disc 2)
3	Jim Hall (g), Carl Perkins (p), Red Mitchell (b)	'57-01-10/24	UCCU 99070/(1)
4	B. Kessel (g), Shelly Manne (ds), Ray Brown (b)	'57-03-18/19	UCCO-90052/(2)
5	Wes Montgomery (g), Tommy Flanagan (p), Percy Heath (b), Albert Heath (ds)	'60-01-26/28	UCCO-9210/(3)
6	Laurindo Almeida (g), Justin Gordon (fl), Al hendrickson (g) + 6 members	'64	TOCP-53721/(4)
7	Al Di Meola (g), Dino Saluzzi (bandoneon), Arto Tuncboyacian (perc), Herman Romero (vo)	'93-02	JICL-89279

(1) CJ28-5153, (2) VICJ-41092, (3) VICJ-23525, (4) TOCP-7907, (*) compilation にて省略。

プレイヤー 概要プロフィール (wikipedia を参照)

#	Player	略歴など
1	Billy Bauer (1915~2005)	NY市生まれ。1946年 Benny Goodman, Jack Teagarden に加わる。その後 bebop 化動向の中でソロイストとして確立。Lee Conitz (as) とのコンビにていくつかのアルバムを残す。Sax/guitar の duo は通常ではない組み合わせ・・・との述懐出版ありと。その意味で modern jazz guitar の開拓者かもしれない。
2	Kenny Burrell (1931~)	デトロイト生まれ。両親が楽器奏者。12歳からギターを演奏、1951年 Dizzy Gillespy sextet に加わり、その後多くの著名プレイヤーと共演。1956年から最近まで 73もの多数のリーダーアルバムを作成し、多様な楽器との共演が多く見られる。1998年グラミー賞を獲得。
3	Jim Hall (1930~2013)	バッファロー市生まれ。10歳からギター、1955年より Chico Hamilton バンドで活動、初リーダーアルバム発表後は、サイドマン活動が中心、多くの著名プレイヤーと共演。1969年よりリーダーアルバム制作に復帰、また共演も多数。1975年の「アランフェス協奏曲」が大ヒットした。
4	Barney Kessel (1923~2004)	オクラホマ州生まれ。1945年 Charlie Parker の録音に参加して次第に注目を集める。1952~53年に Oscar Peterson コンボの一員となり、1953~61年には Contemporary Label にて多数を録音している。1970年以降は Great Guitars というグループを結成して活動した。
5	Wes Montgomery (1923~1968)	インディアナポリス生まれ。音楽一家に育つ。1948~50年 Lionel Hampton バンドに参加後、故郷に戻り兄弟とともにレコーディングし、1960年の“The Incredible...”の成功により一躍有名になった。特有な「オクターブ奏法」の頻用が以後の jazz guitar 奏法に決定的な影響を与えた。
6	Laurindo Almeida (1917~1995)	ブラジル・サントス出身。八人の兄弟姉妹の音楽一家に育つ。米国音楽界との関係は1940年後半にて Stan Kenton バンドでの演奏にて有名になり、1953年 Bud Shank (as/fl) 等との関係から、ボサノバと jazz の融合に至った。クラシック・jazz 両方のグラミー賞を獲得。
7	Al Di Meola (1954~)	NJ. ジャージーシティ生まれ。バークリー音楽大学卒。Chick Corea 率いる「リターン・トゥ・フォーエヴァー」に参加、地中海文化およびフラメンコなどのジャンルを探求、他のギタリストに大きな影響を与えた。エレキ/アコースティックともに駆使して多彩なラテン風味のスタイルと表現力を持つ。

以上

スムーズ・ジャズの作曲・編曲・キーボード奏者 特集

当分科会にては、既にキーボード奏者として ジョー・サンプル (Joe Sample)、フォープレイのメンバーとして ボブ・ジェームス (Bob James)、および デヴィッド・ベノア (David Benoit) をご紹介してきました。

今回は Dave Grusin (デイブ・グルージン)、アルバム・リーダーとしての Bob James (ボブ・ジェームス)、それに若手の Brian Culbertson (ブライアン・カルバートソン) の三者の作曲・編曲および演奏をお聴き頂きましょう。

● プロフィール (Wikipedia 抄訳)

1	デイブ・グルージン (1934~)	1934年 米コロラド州出身。 ジャズ・フュージョン、アダルト・コンラリー、 および映画音楽を代表するピアニスト。 編曲家、作曲家、プロデューサー。 GRP レーベル・レコード創設者の一人、グラミー賞受賞10回他受賞多数。 プロデューサーでキーボーディストの ドン・グルージン は実弟にあたる。
2	ボブ・ジェームス (1939~)	1939年 米ミズーリ州出身。 音楽プロデューサー、作曲家、編曲家。 ジャズ・フュージョン、アダルト・コンテンポラリー界を代表するアーティストの一人。 映画音楽からクラシックまで幅広く手掛けている。 1991年に 〈フォープレイ〉 を結成し活動するほか、コラボレーションを多数手掛ける。
3	ブライアン・カルバートソン (1973~)	1973年 米イリノイ州出身。 スムーズジャズ/フュージョン界で活躍する ピアニスト/キーボーディスト で作曲家、編曲家、音楽プロデューサー。 リリカルで流麗なプレイに ファンクな要素を取り入れた音楽性が特徴で、 ラジオ・ステーションにおいても多用されている。

● アルバム および 曲

#	Album	Tunetitle (Composer/Arranger) <tune #>	time
1	Out of shadows	Last Train To Paradiso (Dave Grusin) <1> Cristal Morning (Dave Grusin) <3> Anthem Internationale (Dave Grusin) <5>	5:12 5:46 6:56
2	Grand Piano cannon	Svengali (Bob James) <4> Just Listen (Lee Ritenour) <8>	4:48 7:41
3	Dreams	After Tonight (B. Culbertson) <1> You Smile (B. Culbertson) <3> In The City (B. Culbertson) <5> Dreams (B. Culbertson) <7>	4:57 4:44 5:24 3:46

● メンバー・リスト

#	Member (instrument)	<Rec date> CD #
1 all	Dave Grusin (p/syn), Lee Ritenour (g), Lincoln Goines (b), Steve Gadd (ds), Don Grusin (syn)	<1982> GRP 95112/ VDP-85
2~4	Bob James (p), Kirk Whalum (ss/ts), Eric Gale (g), Gary King (b), Harvey Mason (ds), Paulinho Da Costa (perc)	<1990> 7599-26256-2
2~8	Bob James (p/ep), Lee Ritenour (g-syth), Nathern East (b), Harvey Mason (ds), Leonard "Doc" Gibbs (perc)	= ↑
3~1	B. C (p/kb/tb/org/ds-pg/perc), Rob "Fonksta" Bacon (g), Alex AI (b), Eric Marienthal (as/ts), etc.	<2012> B0016842-02
3~3	B. C (p/kb/syn-b/ds-pg), Michael Thompson (ag/eg), Ray Parker Jr. (rhy-g)	= ↑
3~5	B. C (p/kb/tb/org/ds-pg/perc), John "JUBU" Smith (g) Alex AI (b), Eric Marienthal (as/ts), etc.	= ↑
3~7	B. C (p/kb/tb/org/snaps & perc), Michael Thompson (ag/eg), Alex AI (b)	= ↑

以上